職業指導
Vocational Guidance

IMAI Fumitoshi
今井　文俊

科目ナンバリング：UTL-3-101-01

■授業の目的及び到達目標
本授業は、企業経営の側面から捉えた職業指導の歴史や理論を考察し、今日に至るキャリア教育の在り方、労働環境の現状や諸問題の理解を深め、商業科教員として役立つ体系的な知識の修得を目的とします。さらには、将来商業科教員として、生徒理解の上に職業指導を行えるようになることを到達目標とします。

■授業計画
〔前期〕

1 我が国の職業指導の歴史(1)
我が国の職業指導の経緯を 20 世紀初頭に遡り考察したのち、職業紹介が果たす役割について議論し学修を深めます。
2 我が国の職業指導の歴史(2)
戦前・戦中の労働環境について考察したのち、現在の採用形態の在り方について議論し学修を深めます。
3 アメリカの職業指導の歴史
パーソンズの理論を出発点として、職業選択に対するカウンセリングの３段階プロセスについて議論し学修を深めます。
4 職業指導にまつわる様々な理論(1)
スーパーの理論を理解したのち、各自のライフステージ、ライフロールについて議論し学修を深めます。
5 職業指導にまつわる様々な理論(2)
クランボルツのプランドハップンスタンス理論と、セレンディピティについて議論し学修を深めます。
6 職業指導にまつわる様々な理論(3)
フロイト、アドラー、ユングの立場か、職業選択やキャリア形成の意味や共感すべき点について議論し学修を深めます。
7 職業指導にまつわる様々な理論(4)
ホランドの職業選択理論の概要を説明したのち、職業レディネステストを体験し、自らの興味領域と基礎的志向性について学修を深めます。
8 企業経営から見た職業指導の在り方(1)
経営と労働の効率性をキーワードにして、テーラーの科学的管理法について理解したのち、その問題点は何かを議論し学修を深めます。
9 企業経営から見た職業指導の在り方(2)
前回の内容を受けてフォードシステムについて理解したのち、人として働くことの意味について議論し学修を深めます。
10 企業経営から見た職業指導の在り方(3)
ファヨールの経営管理論における管理原則を理解したのち、テーラーやフォードとの相違点について議論し学修を深めます。
11 企業経営から見た職業指導の在り方(4)
メイヨーの調査や実験について概要を理解したのち、人間らしく働く上で不可欠な要素は何か議論し学修を深めます。
12 企業経営から見た職業指導の在り方(5)
マグレガーのＸ理論・Ｙ理論、ハーズバーグの動機付け－衛生理論の概要を理解したのち、意欲的働くことの意味を議論し学修を深めます。
13 試験及びフィードバックとしての解説
職業指導の歴史や理論、企業経営から見た職業指導の在り方について試験をしたのち、そのフィードバックとして解説を行います。

〔後期〕

1 キャリア教育(1)
キャリア発達理論を通じた「キャリア教育」について理解したのち、商業高校で進路指導する上での留意点を議論し学修を深めます。
2 キャリア教育(2)
キャリア教育が必要になった背景を理解したのち、社会人基礎力として求められる能力要素の優先順位を各自検討し学修を深めます。
3 キャリア教育(3)
「令和の日本型学校教育」の概要を理解したのち、生きる力の学びのその先にあるものは何かを議論し学修を深めます。
4 キャリア教育(4)
校種ごとのキャリア教育で育成すべき力を理解したのち、具体的にはどのような指導が求められるかを議論し学修を深めます。
5 キャリア教育(5)
各校種のキャリア教育の取り組みを紹介したのち、商業高校を例に 3 年間を見通した職業指導の在り方について学修を深めます。
6 キャリア教育(6)
高校生と保護者の進路に関する意識調査を概観したのち、進学指導を含めどのような職業指導が求められているかを議論し学修を深めます。
7 キャリア教育(7)
各種奨学金制度や「専門学校」について理解したのち、商業科教員としてどのようなアドバイスが的確かを議論し学修を深めます。
8 キャリア教育(8)
インターンシップの実施の現状について理解したのち、インターンシップを取り巻く問題点について議論し学修を深めます。
9 労働を取り巻く環境(1)
日本標準産業分類や日本標準職業分類を参照したのち、自らの適性を踏まえた業種や職種について理解し学修を深めます。
10 労働を取り巻く環境(2)
雇用・失業情勢、労働時間・賃金の動向等を理解したのち、現在の労働環境がどのような状況にあるかについて議論し学修を深めます。
11 職業指導と労働に関する法(1)
労働基準法の概要とその規定について理解したのち、商業高校で職業指導する際の留意点は何かを議論し学修を深めます。
12 職業指導と労働に関する法(2)
引き続き、労働基準法の規定について理解したのち、性別を問わない育児と仕事の在り方、働き方について議論し学修を深めます。
13 試験及びフィードバックとしての解説
キャリア教育、労働を取り巻く環境、労働に関する法について試験を行ったのち、そのフィードバックとして解説を行います。

■授業の方法
本授業では、知識として伝えるべき内容については講義形式としますが、その際でも質問を通じて受講生に意見を求め、双方向の授業展開をします。また、その講義内容を受けて受講生間で討議をし、振り返りの時間を設けて学んだことを整理してもらいます。

■予習・復習
予習では配付した資料を読み込み、重要箇所をマークするなどの準備をしてください（1 時間程度）。復習では知識を定着させるための振り返りの学修を重視するとともに、毎回の講義の要旨をまとめてください（1 時間程度）。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）
成績評価は授業貢献度 50%、学期試験 50%の割合で評価します。なお、授業貢献度は討議、振り返り等により評価します。学期試験は各期の学修内容から出題します。フィードバックは、試験終了後の授業を通して行います。

■教科書・参考書
参考書：「キャリア・コンサルティング　理論と実際　６訂版」木村　周・下村英雄　一般社団法人雇用問題研究会（2022）、「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」文部科学省（2023）、「労働経済白書」厚生労働省（2025）　ほか

■関連する科目
本講座は、商業科教員免許状取得のための必修科目です。他の教職課程の科目同様、確実な修得を望みます。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）
29 年間にわたり埼玉県の公立高校に勤務しました。実務経験は豊富ですので、高校時代に商業科目を履修したことがない人、教えることに不安を感じている人も、安心して授業に参加してください。